

第一号の三書式（第1条の5関係）（Λ4）

実務経歴証明書

① 令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

国土交通大臣
中央指定登録機関 殿
公益社団法人日本建築士会連合会

② 株式会社〇〇 代表取締役社長
証明者 登録 太郎

③ 住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

④ 電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
（ 担当 株式会社〇〇 〇〇部 免許一郎 ）
TEL 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

⑤ 免許申請者との関係 申請者が所属する法人の代表者

下記の者が申請した一級建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違のないことを証明します。

記

⑥ 1. 免許申請者氏名 建築 士郎

⑦ 2. 建築実務経験
建築実務経験期間の合計： 2 年 0 月

⑧ 建築実務の内容：
・確認審査業務において、確認申請書、その他必要図書の構造審査の補助を担当した。
(〇件)

⑨ 備考
1 この実務経歴証明書は、実務経歴書毎に作成すること。
2 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実相違ないことを確認したことを証明すること。
3 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。

※ ①～⑨の項目を確認後、□にチェックを入れてください。
※ 記入例を参考にして、黒または青色の万年筆またはボールペン（インクが消せるものは使用不可）を使用し、楷書で丁寧に記入してください。

チェック欄

① 証明年月日

証明を行った年月日を和暦で記入してください。

② 証明者

建築士事務所以外の法人の場合、法人名・役職名を記入し、法人の代表者（代表権を持つ役員（取締役、理事長等）の氏名を記入してください。

③ 住所・所在地

「② 証明者」が所属する法人の住所・所在地を都道府県から番地まで正確に、ビル名等がある場合はその名称も記入してください。

④ 電話番号

「② 証明者」が所属する法人の電話番号を市外局番から記入してください。
審査の段階で、実務経歴証明書の内容等について、お問合せすることがありますので、担当者氏名（フルネーム）、部署名、日中連絡可能な電話番号もあわせて記入してください。

⑤ 免許申請者との関係

免許申請者と「② 証明者」との関係を入力してください。

⑥ 免許申請者氏名

免許申請者の氏名を正確に記入してください。

⑦ 建築実務経験期間の合計

実務経歴書の「建築実務経験期間の合計」欄に記入された期間が、事実と相違ないことを確認したうえで、期間の合計を記入してください。

⑧ 建築実務の内容

実務経歴書の「実務経験の対象となる業務の内容」欄に記入された内容が、事実と相違ないことを確認し、内容を簡潔に記入してください。
実務の内容が複数ある場合は、全て記入してください。（書ききれない場合は書式をコピーし、記入のうえ、添付してください）

⑨ 備考

備考1について、勤務先が複数ある場合は、それぞれの勤務先毎に実務経歴証明書を作成してください。
備考2について、「使用者その他これに準ずる者」とは、以下の（1）～（2）のいずれかになります。
（1）申請者が所属する法人の「代表者」
（2）申請者が所属する法人の「代表権を持つ役員」
備考3について、虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。